

■ 令和元年度決算に基づく「健全化判断比率」及び「資金不足比率」

(単位：%)

健全化判断比率	令和元年度	平成30年度	平成29年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 (赤字額がないため「-」で表示)	- (△ 8.6)	- (△ 7.7)	- (△ 7.7)	15.0	20.0
連結実質赤字比率 (赤字額がないため「-」で表示)	- (△ 19.5)	- (△ 17.8)	- (△ 18.0)	20.0	30.0
実質公債費比率	10.5	9.8	8.6	25.0	35.0
将来負担比率 (負担額がないため「-」で表示)	2.6 -	- (△ 16.2)	- (△ 11.1)	350.0	/

※ (△) の数値は、黒字比率及び充当財源余剰比率を示しています。

資金不足比率	令和元年度	平成30年度	平成29年度	経営健全化基準	(再生基準なし)
国民健康保険病院事業会計 (不足額がないため「-」で表示)	- (△ 79.5)	- (△ 75.6)	- (△ 61.0)	20.0	
簡易水道特別会計 (不足額がないため「-」で表示)	- (△ 4.0)	- (△ 2.7)	- (△ 4.3)		
下水道特別会計 (不足額がないため「-」で表示)	- (△ 7.9)	- (△ 7.6)	- (△ 6.3)		

※ (△) の数値は、資金余剰比率を示しています。

■ 「健全化判断比率」及び「資金不足比率」の対象

健全化判断比率4指標

